

## 三者三様の地域貢献 先生方の顔こそが地域連携の何よりの推進力

火曜日に社会福祉協議会の主催による子育て支援団体間交流会が開かれました。

今回の会のテーマは、「吉敷の子どもをみんなで守るために ～良城小学校を知り、地域でできることを考えよう～」というもので、平山、浦、手嶋教頭先生が参加しました。

7月に平山先生が、楽楽楽での子育て広場に出向いて、子育てママさん達と交流した取組がきっかけとなり、この度の会が開催されました。

平山先生は、「良城小学校の保健活動について～児童の実態や学校保健活動における地域との連携～」と題し、大切な心と体を自ら守るという健康分野の学校目標の達成に向けた取り組みを紹介しました。



今後の課題として、①自律に向けた支援の継続②情報提供や共有③家庭教育の支援をあげました。児童の主体性の向上という本校の課題を健康面でも家庭・地域と一緒に進めていく必要性、学校以外での児童の様子を知らせてもらうことの重要性、子育て世代、特に若いママさん達の「ママ友」の必要性について熱く訴えました。

浦さんは、地域連携活動支援員として、本校のコミスク活動について、地域の方にプレゼンしました。



学校支援、学校運営、地域貢献というコミスクの③機能に沿って取組をまとめ、元PTAや地域の1人としての視点もふんだんに含めながら、私達教員・管理職としての説明では到底伝えることのできない取組

の良さ、課題についてそれは見事に話しました。

初めての説明でとても緊張されていましたが、感動するほどの説明力で、一般人である参加者の心に訴える説明でした。

今後、さらに様々な場で、私達の代わりに、地域人として本校のコミスクの「核心」を伝えていただけるものと「確信」しています。浦さんステキでした！！

手嶋教頭先生は、子育て関係者と言いながら、今回初めて出会う委員さん同士も多く、AFPYでアイスブレイクし、本校教育への一層の理解につながったと思います。



良城小にとってこの日の会は本当の意味で地域連携のスタートとなったのではないかと思います。

参加者の感想には、「良城小学校のことをよく知っているつもりだったが、新たに知ることが多くとても勉強になった」「まずは、挨拶などの声かけをしてみたい」「地域ができることを考えていきたい」というような感想が多く寄せられていたそうです。

3人の先生方、本当にどうもありがとうございました。正に、三者三様の地域貢献でした。

校長だけでなく、先生方が地域の皆さんの前で顔と顔を合わせながら、地域連携について発言されることの素晴らしさ、必要性を感じました。

私自身も35歳の3学期に、教務主任として勤務校のPTA役員会に自ら志願して参加させてもらってから、地域連携の取組意識が大きく変わりました。

3年先、5年先の良城小教育のためにも、是非、ご協力をお願いします。